



令和3年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年11月13日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4097 URL <https://www.koatsugas.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)澁谷 信雄
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)池田 佳弘 (TEL)06-7711-2570
四半期報告書提出予定日 令和2年11月13日 配当支払開始予定日 令和2年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第2四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第2四半期	36,163	△13.7	1,610	△37.1	1,861	△32.6	1,198	△35.1
2年3月期第2四半期	41,908	2.9	2,562	15.3	2,763	7.2	1,847	9.1

(注) 包括利益 3年3月期第2四半期 1,707百万円(△33.0%) 2年3月期第2四半期 2,550百万円(21.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第2四半期	21.71	—
2年3月期第2四半期	33.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第2四半期	86,047	60,010	68.9
2年3月期	87,492	58,829	66.2

(参考) 自己資本 3年3月期第2四半期 59,303百万円 2年3月期 57,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
3年3月期	—	8.00	—	—	—
3年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	△10.6	3,300	△35.8	3,800	△34.8	2,500	△34.3	44.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

3年3月期2Q	55,577,526株	2年3月期	55,577,526株
3年3月期2Q	373,191株	2年3月期	373,075株
3年3月期2Q	55,204,402株	2年3月期2Q	55,204,591株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞により、先行き不透明な極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は361億63百万円（前年同期比13.7%減少）、営業利益は16億10百万円（前年同期比37.1%減少）、経常利益は18億61百万円（前年同期比32.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億98百万円（前年同期比35.1%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、鉄鋼、自動車、化学、食品など仕向け先全般において急激な需要の減速がみられ、厳しい状況で推移しました。このような事業環境のなか、当事業ではシリンダーガスビジネスの持続的な成長や収益の改善を目指し、生産・販売体制の合理化、安全・保安対策の強化、老朽設備の更新などの投資を行ない、地域に密着した営業に努めてまいりました。

『溶解アセチレン』は、鉄鋼、自動車関連工場向けの需要の減少と建設、土木における現場工事の一時停止や着工の延期などにより需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、酸素が現場工事向けの減少、窒素、アルゴンが仕向け先の需要の減少、炭酸ガスがプラントメーカーの出荷調整や食品向けの減少、また、LPガス等の石油系ガスが需要の減少と輸入価格の下落に伴う販売価格の低下により、売上高は前年同期を下回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『容器』は、半導体向け容器が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は267億37百万円（前年同期比14.0%減少）となりました。営業利益は16億35百万円（前年同期比36.8%減少）となりました。

② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、仕向け先の需要が大きく減少する厳しい状況が続きました。このような事業環境のなか、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品の開発に努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが新製品の開発により、紙用接着剤及びDIY向け塗料用が増加したものの、その他塗料用、土木用、粘着用が減少、シアノンが北米、南米向けを始め輸出が減少、また、ペガロックが国内、海外向けの需要の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

『塗料』は、建築用塗料が高機能品の「ウォールバリアシリーズ」の伸長があったものの新型コロナウイルスの感染拡大や長雨の影響による改修工事の延期により汎用塗料が減少、また、エアゾール製品の需要が減少し、前年同期を下回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は80億89百万円（前年同期比13.0%減少）となりました。営業利益は6億33百万円（前年同期比3.2%減少）となりました。

③ その他事業

その他事業は、食品添加物、LSIカード関連の需要の減少により前年同期を下回り、売上高は13億36百万円（前年同期比10.2%減少）、営業損失は19百万円（前年同期は、34百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億45百万円減少して860億47百万円となりました。流動資産は、売上債権の減少により前連結会計年度末に比べ30億25百万円減少して、469億97百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加と投資有価証券の時価が上昇したことにより前連結会計年度末に比べて15億79百万円増加し、390億50百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ26億26百万円減少して260億36百万円となりました。流動負債は、長期借入金から1年以内返済長期借入金へ振替があったものの仕入債務、未払法人税等の減少により前連結会計年度末に比べ10億39百万円減少し、224億3百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債の増加があったものの長期借入金から1年以内返済長期借入金への振替により前連結会計年度末に比べ15億86百万円減少し、36億33百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ11億81百万円増加して600億10百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、令和2年8月7日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,880	20,895
受取手形及び売掛金	21,166	18,272
電子記録債権	3,115	2,774
商品及び製品	2,776	2,667
仕掛品	469	542
原材料及び貯蔵品	1,306	1,414
その他	365	499
貸倒引当金	△56	△68
流動資産合計	50,022	46,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,384	8,636
機械装置及び運搬具（純額）	3,816	3,892
土地	13,298	13,638
建設仮勘定	604	706
その他（純額）	1,072	1,165
有形固定資産合計	27,177	28,039
無形固定資産	400	376
投資その他の資産		
投資有価証券	9,056	9,805
繰延税金資産	159	150
その他	731	734
貸倒引当金	△56	△57
投資その他の資産合計	9,891	10,633
固定資産合計	37,470	39,050
資産合計	87,492	86,047

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,567	9,041
電子記録債務	6,665	5,596
短期借入金	1,366	1,505
1年内返済予定の長期借入金	75	2,037
未払法人税等	1,054	574
賞与引当金	1,188	1,136
その他	2,525	2,511
流動負債合計	23,442	22,403
固定負債		
長期借入金	3,000	1,157
退職給付に係る負債	592	591
役員退職慰労引当金	21	20
繰延税金負債	796	1,063
その他	810	800
固定負債合計	5,220	3,633
負債合計	28,662	26,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,725	2,775
利益剰余金	50,136	50,893
自己株式	△199	△199
株主資本合計	55,546	56,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,743	3,228
為替換算調整勘定	2	4
退職給付に係る調整累計額	△305	△283
その他の包括利益累計額合計	2,440	2,949
非支配株主持分	841	707
純資産合計	58,829	60,010
負債純資産合計	87,492	86,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
売上高	41,908	36,163
売上原価	30,472	26,034
売上総利益	11,435	10,129
販売費及び一般管理費	8,872	8,518
営業利益	2,562	1,610
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	139	146
受取手数料	55	52
その他	215	195
営業外収益合計	417	398
営業外費用		
支払利息	15	15
為替差損	46	17
その他	155	113
営業外費用合計	216	146
経常利益	2,763	1,861
特別利益		
固定資産売却益	13	—
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	17	—
特別損失		
投資有価証券売却損	6	—
ゴルフ会員権評価損	—	0
特別損失合計	6	0
税金等調整前四半期純利益	2,775	1,861
法人税、住民税及び事業税	930	624
法人税等調整額	△11	42
法人税等合計	919	667
四半期純利益	1,856	1,194
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,847	1,198

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
四半期純利益	1,856	1,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	642	488
為替換算調整勘定	△22	2
退職給付に係る調整額	73	21
その他の包括利益合計	694	512
四半期包括利益	2,550	1,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,528	1,707
非支配株主に係る四半期包括利益	21	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,775	1,861
減価償却費	986	1,055
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	13
受取利息及び受取配当金	△147	△150
支払利息	15	15
為替差損益(△は益)	22	20
有形固定資産売却損益(△は益)	△13	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,233	3,249
たな卸資産の増減額(△は増加)	0	△67
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,009	△2,623
投資有価証券売却損益(△は益)	1	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△52
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△25	△19
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△88	△76
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	41	14
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	59	13
未払消費税等の増減額(△は減少)	△43	△210
その他	△354	△155
小計	2,449	2,887
利息及び配当金の受取額	147	150
利息の支払額	△15	△15
法人税等の支払額	△1,097	△1,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,484	1,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	△21
定期預金の払戻による収入	115	21
有形固定資産の取得による支出	△1,995	△1,598
有形固定資産の売却による収入	50	—
投資有価証券の取得による支出	△52	△52
投資有価証券の売却による収入	31	—
その他の支出	△27	△22
その他の収入	11	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,887	△1,672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	139
長期借入れによる収入	150	160
長期借入金の返済による支出	△37	△39
配当金の支払額	△442	△441
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△9	△79
その他の支出	△2	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△341	△268
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△753	△13
現金及び現金同等物の期首残高	20,925	20,737
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	30
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,172	20,754

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した「追加情報（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて）」で、会計上の見積りに使用した仮定について、当第2四半期連結累計期間において、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,116	9,302	1,489	41,908	—	41,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,116	9,302	1,489	41,908	—	41,908
セグメント利益又は 損失(△)	2,590	654	△34	3,210	△648	2,562

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△648百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,737	8,089	1,336	36,163	—	36,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,737	8,089	1,336	36,163	—	36,163
セグメント利益又は 損失(△)	1,635	633	△19	2,249	△639	1,610

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△639百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。